

おとなの安全対策

安全委員長 樽井 智

今年度のロックダウン訓練、避難訓練は保護者の皆様の協力もあり、とてもスムーズに行うことができました。ありがとうございました。

日本語学校の要覧には、子供たちと教職員の安全対策については詳しく書かれています。では、私たち保護者は、非常時にどう行動すればよいのでしょうか？今回は、大人の安全対策について述べたいと思います。

(注) 保護者控え室と図書館の2カ所が、学校時間中の保護者の滞在場所に指定されております。

1. 災害発生時（緊急時避難）

アラームが鳴り次第、子供たちとは別に、各個人で避難経路（要覧「付録」参照、パスワードあり）を通過して、西側駐車場に避難して下さい。状況に応じて、出口付近など混雑するところでは、子供たちの誘導のお手伝いをお願い致します。全員の避難終了後に、西側駐車場にて、教員から保護者に子供を引き渡します。避難後、教員からの引き渡しの前に、ご自分のお子さんを勝手に連れて行くことは、決してしないでください。

2. 不審者侵入時（ロックダウン）

アラーム直後、「保護者控え室」と「図書館」はロックダウンに入ります。その際、保護者控え室のロックダウンは、その場にいらっしゃる保護者の方に行っていただきます。

- **ドアを閉め**（カフェテリアのドアは中から閉めるだけで鍵がかかり、外からは開けられなくなります）
- **電気を消し**（電気スイッチはカフェテリア後方）
- **ドア窓に目張り**（執行部テーブルに常備（緑：異常なし、赤：けが人がいるなど、異常あり）を貼ります）
- そして**死角になるところに退避**し、音を立てずに、ロックダウン解除の連絡があるまでそのまま待機して下さい。

3. 休み時間のロックダウン

一番近い教室や部屋に入って、とにかく静かに身を隠して下さい。状況に応じて臨機応変に判断、行動することが大切になっていきます。

緊急時には、平時のシステムがどれだけ上手に使われているかが問われるときでもあります。非常時にも、平時同様、日本語学校がコミュニティーとして協力しながら全体が冷静に適切に対応できる様に、日頃から心がけていきたいと思っております。

